

## 社会福祉法人じねん 令和6年度 事業計画

新型コロナ禍は下火になりつつもなお収まらない状況が続いています。

当法人においても現行の予防対策をなおしばらく継続せざるをえないと考えています。従って通常の年間行事なども状況をみながら対応していくという形をとることになると思います。

当法人の施設ですが、建物の外回り（外壁など）の修繕や設備の改善（康陽の補助暖房など）については昨年までに完了しました。

ところが今度は地球温暖化の影響なのか気候変動がはげしくなり、今年の夏は異状高温となりました。利用者の生活にはさほどの影響はみられなかったのですが、介護職員の方が「夏ばて」状態となってしまいました。この状況は今後も続くのではと考え、今年度に「愛敬」と「寿楽」に各1ユニット分の冷房設備を設置することにしました。

又、今年度からは、各施設の屋内補修という課題があります。平成13年に建設した「愛敬」は、内装の劣化が目立ちはじめたため屋内補修の見積りを業者に発注します。その後他の施設も同様に補修してゆかなければなりません。北海道からの補助金がなく、自己資金のみで行なわなければなりません。従って改修も規模を縮小して行なわざるをえないと思われれます。

介護職員の不足については業界全体で相変わらず常態化していますが、当法人では日本人採用と共に外国人も積極的に採用する努力を続けています（現在2名採用済み）。外国人採用について令和6年度には、「愛敬」で1名採用が確定しています。令和7年度には「愛敬」1名、「康陽」1名の採用予定となっています。令和8年度には当麻町も含め3町に各1名の採用の要望を出しております。

職員の処遇改善については、昨年度は全体費用約1,400万円で、人件費は約6.6%のアップを行ないました。

諸物価高騰の折り、職員採用においてより良い給与条件を提示するため、また在勤職員には日頃の介護業務への感謝と更に介護の質を高めて頂くことを期待して、今年度も昨年度に続いて2年連続の処遇改善を行なう予定です。